

各 位

平成 21 年 5 月 25 日
丸の内キャピタル株式会社

株式会社タカラトミーとの戦略的資本・事業提携に関するお知らせ

本日、当社が運用する丸の内キャピタル第一号投資事業有限責任組合（以下、総称して「丸の内キャピタル」）は、株式会社タカラトミー（以下、「タカラトミー」、東証一部 銘柄コード 7867）との間で、戦略的資本・事業提携（以下、「本件提携」）を行うことに合意いたしましたのでお知らせいたします。

タカラトミーは、玩具業界におけるリーディングカンパニーとして、「トミカ」「プラレール」など数多くの定番商品を有する一方、「トランスフォーマー」「ベイブレード」などの話題性のあるヒット商品を次々と生み出し、直近売上高で 1,800 億円を誇る世界有数の玩具メーカーです。歴史に裏打ちされた高い技術力、ブランド力及び豊富なコンテンツラインナップ等を最大限に活用することにより、玩具及び玩具周辺事業の更なる強化のみならず、コンテンツビジネス、グローバル市場においてもそのプレゼンスを拡大していく予定としております。

丸の内キャピタルは、玩具及び玩具周辺事業におけるタカラトミーの強固な経営基盤、保有する豊富なコンテンツ、グローバル展開におけるポテンシャルを高く評価しております。本件提携によりタカラトミーの筆頭株主となり、役員派遣等を通してタカラトミーの連結ベースのコーポレート・ガバナンスを強化することにより、国内玩具事業のコスト競争力の強化、玩具周辺事業の収益力改善に加え、コンテンツビジネスの拡大・強化、グローバル展開の本格化の実行支援を行う予定です。具体的な施策につきましては、本件提携後、タカラトミーとの間で包括的な取り組みを協議してまいります。

本件提携に基づき、丸の内キャピタルは、タカラトミーの自己株式の処分により 14,443,700 株取得することで、タカラトミーの発行済株式総数の 15%を保有する筆頭株主となる予定です。また、丸の内キャピタルからは、社外取締役 2 名の派遣と共に、資金面・人的側面からのサポートを行い、タカラトミーの企業価値の最大化に向けて積極的に取り組む所存でございます。なお、既存株主である TPG からも本件に協力頂いており、今後、両方で協働してタカラトミーの企業価値向上に取り組んで参ります。

以上

丸の内キャピタルについて

丸の内キャピタル株式会社（代表取締役社長：矢坂修）は、三菱商事株式会社と株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（以下、「MUFG」）の子会社である三菱 UFJ 証券株式会社により 2008 年 4 月に設立された投資ファンド運営会社であり、三菱商事が有する幅広い事業ネットワーク・ノウハウと、MUFG グループの広範な顧客基盤・金融ソリューション力を最大限に活用することにより、投資先企業の企業価値を持続的に向上させることを目指しております。また、投資スタンスとしては、投資先企業の経営陣と強く安定的な信頼関係を築くことにより、投資先企業が本来有する潜在的な価値や力を実現することを目指しております。

当社が運用する「丸の内キャピタル第一号投資事業有限責任組合」は、当社、三菱商事、三菱東京 UFJ 銀行、MUS プリンシパル・インベストメンツ株式会社（三菱 UFJ 証券の 100%子会社）から出資総額 1,000 億円のコミットメントを得ており、本件提携を皮切りに、主に国内企業に係る事業再編、ノンコア事業分離（カーブアウト）、事業承継等の資金ニーズに、エクイティ、メザニン、デットファイナンス等の様々な投資手法を用いて積極的に対応していくことを目指しております。

<本件に関する問合せ先>

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-3-1

東京銀行協会ビル 9 階

丸の内キャピタル株式会社 松島

電話：03-6212-6498